

市民協働でやさしさと活力ある飛驒高山に



市長 守 正
高山市 土野

新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり謹んでごあいさつを申し上げます。

昨年世界的な金融不安による景気低迷や雇用の悪化、8月の衆議院議員総選挙後の政権交代など我が国の政治や経済が大きく変動

した年となりました。こうした中、当市の行財政運営にあたっては、行政改革を積極的に進める一方、厳しさを増す地域経済を立て直すため、一昨年から切れ目のない緊急景気対策・生活者支援対策をはじめ、人口減少・少子高齢化への対応、防災体制の強化、地球温暖化対策、教育環境の整備と安全対策など、市民福祉の向上と一体感のある魅力あふれる地域づくりに取り組んでまいり

ました。高速交通ネットワーク整備のメリットを最大限に活かし、交流人口を増加させるため、海外における積極的な観光客誘致活動を展開したほか、10月には日中韓観光大臣会合を誘致するなど観光振興対策を推進しました。

また急速に進む少子化に歯止めをかけるため、子育て支援金の支給や子ども医療費の無料化、保育料の軽減などの事業を実施してまいりました。これらの取組

みが評価され、昨年末には「第4回につけい子育て支援大賞」を受賞することができました。

平成8年から進めてまいりましたバリアフリーのまちづくりにつきましても、各方面から高い評価をいただき、11月には国連アジア太平洋経済社会委員会との共催による「ESCAPアジア太平洋・2009バリアフリー高山会議」が開催され、高山市の先進的な取組みを世界に発信することができました。

今後、分権型社会の構築を目指し、自立した自治体としての行財政運営を確立するため、一層の行財政改革を推進し、将来都市像である「やさしさと活力にあふれるまち飛驒高山」を目指し、市民の皆様と協働して各種施策を確実に実施してまいりたいと考えています。誰もが住みよさを実感し、安全で、安心して快適に暮らすことのできるユニバーサルデザインの視点に立ったバリアフリーのまちづくりを進めてまいりますので、市民の皆様の「一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

夢と希望あふれる新年 議会改革の推進も



議長 建 一
高山市 蒲

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様には、ご健勝にて新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、百年に一度といわれる金融危機が日本経済

で、衆議院総選挙により政権交代が行われ、国・地方とも政治経済が激動した一年でありました。

こうした中、高山市では、行財政改革を進めて健全財政を堅持し、合併記念公園や高山駅のJRAアンダーパスの完成をはじめ、緊急景気対策などの事業により生活環境の向上が図られました。また、12月定例会では、平成26年度までを計画期間とした第七次総合計画の基

本構想を一部改定し、現在、市を取り巻く環境の変化に対応した新たな施策が計画されているところです。地域経済については、新卒者の就職も心配される厳しい状況ですが、市民の皆様と行政が協働し、地域活力の創出に取り組んでおられることを心強く思っております。

「住んでよかった。これからも住み続けたい」。そんな幸せを感じられるまちづくりには、市民による市民のための

市政が不可欠であり、市民一人ひとりがさまざまな分野で主体的に役割を担っていく必要があります。昨今、「地域主権」といわれますが、私たちは地域の絆を深め、福祉や防犯防災、青少年育成、地域活性化などに積極的に関わっていくことが大切であると感じております。

平成22年度は、第七次総合計画の後期計画がスタートします。議会としましては、全議員で構成する「議

会改革等に関する特別委員会」において、市民の皆様への付託にこたえられるよう、議会の基本理念や機能、議員定数などについて十分議論し、議会改革を進めてまいります。また、広い地域全体に目を配り、精一杯の努力をいたす所存ですので、ご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

迎えた新年が、皆様にとつて夢と希望あふれる実り多い年となりますことを衷心よりお祈り申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。